

店長の平均年収は601万円

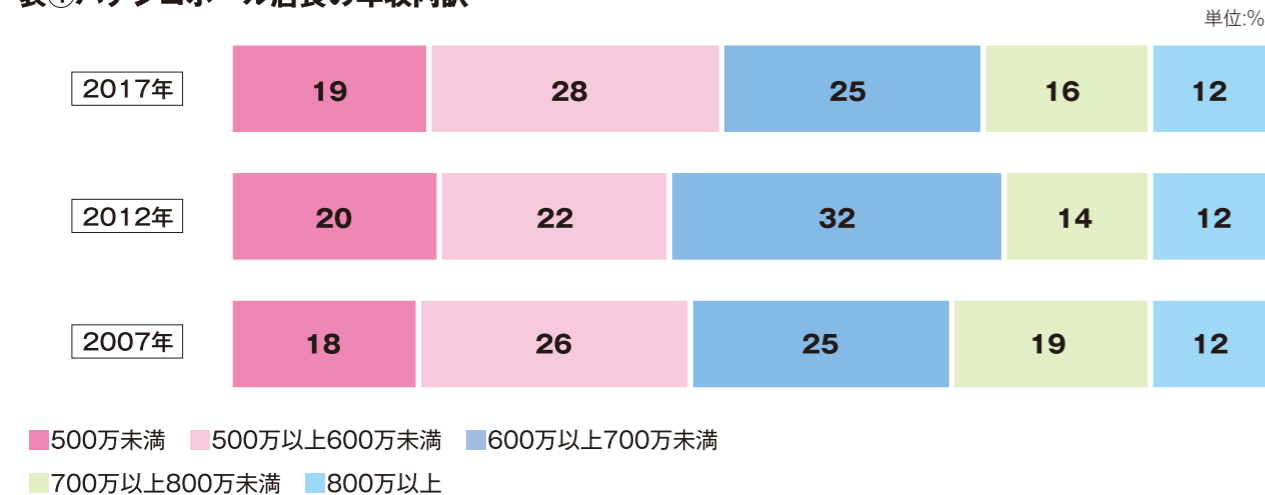
パチンコ業界の採用支援を行うバック・エックスによりパチンコホールで働く正社員の2017年の平均年収に関する調査レポートがまとめられた。同社サービスを利用した一般社員からエリア長を対象に実施されたもので、有効回答は1,028件だった。

表③パチンコホール店長の平均年収

	2007年	2012年	2017年
店長平均年収(万円)	606	608	601
店舗数	13,585	12,149	※10,861
遊技参加人口(万人)	1,450	1,110	※849
売上(億円)	301,770	256,720	※218,212

※店長平均年収は各年においてバック・エックスサービスを利用したパチンコホール店長の有効回答より
 ※2017年の「店舗数」「遊技参加人口」「売上」はまだ未公開のため2007年から2012年の増減率(同等率)にて算出し仮置き(2017年末現在の店舗数(10,596店舗)は3月9日に警察庁から発表されたが、本調査はその前に実施された)

表④パチンコホール店長の年収内訳



表⑤パチンコホール正社員 店舗規模別平均年収データ[2017年]



店長の平均年収 過去10年間の比較と考察

同社の執行役員である窪田淳二氏はこの度の調査結果と傾向について次のように述べている。

「30兆円産業といわれていた2007年から2012年にかけて業界規模は約15%縮小。それにもかかわらずパチンコホール店長の給与水準はそれほど変わっていない。以降も売上規模が落ち込んでいるにもかかわらず、そこまで大きな変化が見られないことから考えると、パチンコホールの給与レベルは実は10年前から下げ止まっている状態とみることができそうだ」

また「現在の平均年収は下落する旧体質な給与体系と上振れしながら広がる近代化した給与体系のあいだで均衡状態になった結果とも捉えられる」とも付け加え、この10年で急速に進んだパチンコホールの近代化、2極化なども数値に影響を与えているのではないかと指摘した。

表①パチンコホール正社員の年収[2017年]

パチンコホール正社員 2017年 平均収入(万円)	平均値	中央値
	533	500

※バック・エックスサービスを利用したパチンコホール正社員(求職者)の有効回答より
 ※一般スタッフからエリア長までの年収を抽出・データ化

表②パチンコホール正社員と他業種との平均年収比較[2017年]

	平均月収 (万円)	平均年収 (万円)
パチンコホール	444,643	5,335,710
不動産・物品賃貸業	441,254	5,295,048
製造業	424,451	5,093,412
卸売業・小売業	416,295	4,995,540
建設業	406,517	4,878,204
運輸業・郵便業	390,730	4,688,760
飲食サービス業等	289,073	3,468,876

パチンコホール 正社員の平均年収 前回調査からほぼ横ばい

調査は2017年中にバック・エックスのサービスを利用したパチンコホール正社員(一般からエリア長)を対象に実施され有効回答数は1028件。それによると2017年のパチンコホール正社員の年収は平均値533万円、中央値では500万円だった。同社の前回調査(2014年)では平均値は521万円、中央値で500万円。今回調査と比較すると平均値で12万円(2.3%)増え、中央値では増減なしという結果。これを踏まえレポートでは「2017年は、ギャンブル依存症対策、規則改正、認定申請などパチンコ業界にとって今後さらなる変化を予兆させる大きな動きがあった。取り巻く環境が厳しさを増し、売上規模や遊技参加人口も下落傾向にある中で、パチンコホール正社員の年収は大幅な変動はなく、ほぼ横ばいで推移した」と総括している。

パチンコホール正社員と他業種との平均年収比較

一方、他業種との比較では、依然としてパチンコホール企業は高い給与水準を維持している。

レポートでは、厚生労働省の「毎月勤労統計調査」から2017年の他業種の月収を照会。それに12ヶ月をかけて年収を算出し、「不動産・物品賃貸業」「製造業」「卸売業・小売業」「建設業」「運輸業・郵便業」「飲食サービス業」の6業種との平均月収ならびに平均年収を比較した結果、パチンコホールは6業種すべてに対して上回っていることがわかった。

また、同社が独自調査した130職種別平均年収においてもランキング22位に付けるなど、パチンコホール正社員の給与はやはり高く、取得が難しい資格職種群と遜色ない水準にあることも示されている。

無資格職種で得られる給与としては大変に高い水準ともいえそう。